

## 平成30年第1回議会報告会における要望事項等に対する市長及び教育長からの回答

	意見・要望の概要	報告会場 【対象振興会】	担当課	回答
1	<p>コミュニケーションポートの図書館についての考え方はどうか。教育機関であり、収益が上がらないのに、指定管理にすることに疑問がある。</p> <p>指定管理の業者選定等のスケジュールは開示されているのか。</p> <p>3月1日広報で酒田コミュニケーションポートについてのパブリックコメントがあったが、関心がない方は何についての募集かもわからないではないか。また、その資料については、市役所または図書館に行って確認するか、ホームページを見るなりして確認するようにとのことだが、とても不親切ではないか。多くの市民に公正に判断してもらおうという姿勢が酒田市にかけているのではないか。ホームページを見られない方もいる中で、何でもホームページを見てくださいというのはいかがなものか。</p> <p>パブリックコメントの説明が不足であり、分かりにくい。</p> <p>駐車場、観光案内所も教育委員会で管理するのは、いかがなものか。</p> <p>整備検討委員会の座長である副市長が一般質問に対して、これまで人材育成をしてこなかったと答弁しているが、いかがなものか。</p>	<p>松陵学区コミュニティ防災センター 【松陵、琢成、西荒瀬】</p>	<p>都市デザイン課 図書館</p>	<p>酒田コミュニケーションポートの管理運営計画については、検討経過を含めて、市広報、市HP、市facebook、各コミセン、市図書館（分館を含む）などで出来る限り情報発信に努めているところです。</p> <p>また、整備検討委員会を公開会議とし、一般市民の方々からも議論経過をご覧いただけるよう対応し、提出資料や議事録についても委員会終了後、市HPで公開しております。</p> <p>その他にも、シンポジウム、設計市民説明会、パネル展示などの機会を通じ、多くの市民意見をいただき、出た意見とそれに対する市の考え方も公表させていただいています。</p> <p>管理運営に特に関心ある方が情報をキャッチできるような取組みを進めるとともに、あまり関心ない方にも進捗状況を知ってもらうための取組みに努め、行政情報の透明性の確保に、今後も努めていきたいと考えています。</p> <p>なお、整備検討委員会以外にも、図書館を考える会、地元コミ振、図書館協議会、社会教育委員などからも意見をいただいています。</p> <p>ご不明な点があれば、随時対応していますので、当課までお問合せください。</p> <p>副市長の人材育成に係る件については、先の30年6月定例会の市原議員の一般質問で答弁させていただいています。</p> <p>その上で、以下のとおり補足します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収益の趣旨が不明であります。指定管理者制度は、（民間事業として成立しない）公共施設の管理手法の一つであり、民間活力を効果的・効率的に活用していこうとするものであり、行政が必要な予算を措置して、民間企業から仕様書に基づく業務を担ってもらえるものであります。</li> <li>・指定管理の選定スケジュールは、工事の進捗に大きく影響を受けるので、工事スケジュールと合わせて調整し、見通しが出来次第お知らせしたいと思います。</li> <li>・駐車場、観光案内所も教育委員会で所管するのは、①指揮系統が一本化され、機能間の連携など効果的・効率的な運営ができる②事故時等の責任所在が明確になる③施設全体の相乗効果を意識した一体的マネジメントを行いやすいという基本的な考え方に基づき、所管する行政組織は、一本化することを基本としています。</li> <li>・（副市長答弁概要）問い：30年3月定例会での副市長答弁は、現在の図書館職員の取組みを否定するものではないか。</li> </ul> <p>答弁概要：前回「専門家としての特別な養成は行ってこなかった」と申し上げたのは、これまで本市の行政規模、定員管理上の観点等から、職員採用において図書館の司書枠を設けてこなかった点などを踏まえて答弁したものです。その上で、常勤職員については、通常の人事異動の中で適材適所に配置し、その状況下において、より図書館サービスの市民への提供を図るため、日々取り組んでいます。その部分について、否定したものではありません。</p>
2	<p>旧国立倉庫が解体され、仙台のホクト開発が買収したはずであるが、その後の状況はどのようになっているのか。</p> <p>酒田市都市デザイン課はどのように関わっているのか。</p>		<p>都市デザイン課</p>	<p>買収した事業者からは、その土地の開発手続きについて相談を受けており、都市計画法などの関係法令等に定める開発基準に適合した開発となるよう、話し合いに応じております。</p>
3	<p>旧国立倉庫の一部の土地を市で買ったのか。</p>		<p>土木課</p>	<p>現在、行き止まりとなっている法定外道路の突き当たりの敷地を維持管理用通路用地として土木課で用地を取得済みです（A≒816㎡ W≒8m、L≒102m）。</p> <p>整備後は行き止まりの解消により、沿線住民の二方向避難が確保され、また、緊急車両や除雪機械の走行に対しても安全性の向上が図られることとなります。</p>
4	<p>3月31日で東北農政局山形支局酒田駐在所が突然閉鎖したが、どうなっているのか。</p>		<p>農政課</p>	<p>東北農政局山形県拠点酒田駐在所は、県内に2箇所の地域センターのうちの1つとして位置付けられていましたが、平成27年10月の農林水産省の組織改正により、各県に1拠点のみ設置することになりました。このため、山形地域センターを山形県拠点とし、酒田地域センターが廃止され、暫定的に酒田駐在所として位置付けられました。平成29年に入り、30年3月に酒田駐在所が廃止される方向が示され、30年1月に正式なお知らせとして、30年3月末日をもって廃止されること、また、廃止に伴い不便を掛けないようにすることが伝えられました。</p> <p>また、酒田駐在所の廃止については、酒田市農業再生協議会が2月に開催している平成30年度地区説明会において、酒田駐在所の職員が同席した際に情報提供を行ってきたところです。</p>

	意見・要望の概要	報告会場 【対象振興会】	担当課	回答
5	図書館は本来無料で、利益を産み出さない施設。指定管理だと利益優先になるのではないかと。人件費を削られ、雇用が不安になるだけでなく、司書としての研修ができるのか。説明では、今の図書館より良くなるとのことだったが、本当にそうだろうか。なぜ、指定管理なのか。教育委員会で責任をもってやるべきではないか。直営にすべきと考える。また、パブリックコメントに関連して、すぐHP（ホームページ）をご覧くださいと言うが、HPを使えない人が多くいる。図書館が移転することすら知らない人が多い。指定管理への不安がある。		都市デザイン課 図書館	No.1の回答のとおり。 雇用の不安が生じないよう指定管理者に雇用環境の充実を求めていくとともに、市としても適切な指定管理料を設定し、またモニタリングを通じて実際の雇用条件等の確認も実施していきます。研修等の人材育成体制などの充実も要求水準として求めていきたいと考えています。 市民にとってより良い施設となるよう、他の自治体の事例も参考にしながら検討を行い、先だって、指定管理者制度を導入する方針を決定しております。 導入にあたっては、実施計画に記載している4つの基本的な考え方のとおりですが、目標の実現に向けて、教育委員会が統括管理しながら、指定管理者のノウハウを活用し、連携しながら運営を進めていきたいと考えます。 ＜指定管理導入の基本的考え方（実施計画より）＞ ①新施設の基本理念を目指し、周辺民間機能との連携、新たな付加価値（技術力）、獨創性、柔軟性等の民間ノウハウを積極的に活用し、サービスの向上を図る。 ②市行財政改革推進計画に基づき「民間でできるものは民間に」（民間資源が充実しているものは民間に）の考えのもとで、民間活力の積極的な導入を図る。 ③多様な市民ニーズに応えるためには、複数の機能が集約するメリットを最大限に生かした一体的な運営が必要である。 ④市全体の限られた資源（定員、財政）の中で、多様な市民ニーズやサービスの質の維持・向上に対応していく必要がある。
6	空家対策について。隣家の瓦が落下することがあるが、お金がないのでどうにもならない。歩道に落ちることもある。市の予算で「瓦注意」等の看板を設置できないものか。（東平田）		まちづくり推進課	空き家対策としては、市の予算で対応はしていませんが、現場を確認の上、管理不十分な空き家の所有者等に対して、適正な管理をお願いしてまいります。 また、個人の財産権と周辺住民の安全、住環境の保全をどうしていくかという問題はあります。
7	酒田祭りに関わって。酒田祭りは、曜日に関わらず期日が決まっており、平日開催だと神宿の運営が大変（人集めが大変）である。祭りを5月19～21日の期日ではなく、土日に開催できないものか。	浜田学区コミュニティ防災センター 【若浜、浜田学区、東平田、中平田、北平田】	交流観光課	山王祭は神事であり、現在の日程を変更することは市の意向だけではできないものと考えております。酒田まつりは山王祭と併せて山車行列などを行うことで、賑やかさだけでなく、伝統も大切にしたい酒田市民全体の誇りと心意気を感じられるお祭りであると考えておりますのでご理解をお願いいたします。 また、市としましては、市民のみなさんの負担軽減及びお祭りを皆様に楽しんでいただけるように、市内の学校や企業様に5月20日の「ふるさと休日」の実施についてお願いしています。市内及び遊佐町の小学校、中学校は全校で実施いただいております。企業様においても多数の企業様からご賛同いただいているところです。
8	駅前周辺の買い物難民について。駅前には酒田の顔であり玄関口である。駅前再開発で手を挙げた業者がいない、ではなく、何とか要望を叶えて欲しい。		都市デザイン課	先の平成30年6月定例会の五十嵐議員の一般質問において答弁しているのとおりとなります。 ＜答弁概要＞ ・市では、今回の再開発の構想段階である対話型市場調査時から、スーパーの出店要望について民間事業者に伝えているところです。 ・さらには、再開発事業者募集にあたり、地元の声として「生鮮品等の日常の買い物ができる店舗の整備が求められている」と募集要項に明記しましたが、結果としてスーパーを入れた提案はなかったものであります。 ・今回の再開発における駅前へのスーパーの出店については、市として働きかけは行ったものの、事業者からは市場性が低いものと判断されたと理解しており、その考え方については、地元自治会に対し説明会等においてお伝えしています。 ・この度の事業で、地域の皆様のご期待に応えることができませんが、今回の再開発を呼び水に駅周辺エリアの価値が向上していき、マーケットとして魅力あるエリアに発展し商業店舗の出店に繋がっていくよう、魅力的な施設となるよう頑張りたいと考えています。
9	東栄町のポンプ稼働について。道路冠水になるような大雨の時、ポンプは機能しているのか。安心とポンプの稼働について、住民に知らせたい。（想定している降水量や、それを超えて川があふれた際の対応について、後ほどお知らせすると回答）		上下水道部工務課	若浜雨水ポンプゲート場は、時間降雨量50.4mmを想定して整備された施設です。平成29年8月24日に発生した豪雨では、時間換算で84mmと一時的に施設能力を超過しましたが、本事業が完了していた若浜排水区では、ポンプが適正に稼働したことにより、道路冠水は発生したものの、住家等への浸水被害は発生しておりません。 また、ポンプゲート場は、新井田川の水位が高い場合、晴天時でも稼働し新井田川へ排水する仕組みとなっております。これまでの実績として、年間約80時間稼働している状況です。
10	宮野浦は人口増加傾向にあるが医者がいないという問題点もある。対応を検討していただきたい。		健康課	宮野浦学区の廃業した診療所において、民間の医療機関が開業の準備を進めており、8月20日開院予定と聞いています。
11	高速道路、山形新幹線等、インフラ整備のためにもジオパークを中心に交流人口増加に繋がる事業を行っていただきたい。	宮野浦学区コミュニティ防災センター 【宮野浦学区、新堀、広野、浜中学区、黒森、十坂】	交流観光課	酒田は市内全域がジオエリアとなっており、ジオガイドが説明するモデルコースの一つに飯森山周辺から海岸線に抜けるコース設定があります。現在、鳥海山周辺と飛鳥を中心にジオパークの説明ができるジオガイドの育成やスキルアップを図るための事業を実施しており、今後ともお客様の受入体制の磨き上げと、外部へのPRを積極的に実施し、交流人口の拡大に努めて参ります。
12	宮野浦にもう一つ温泉施設を検討していただきたい。		交流観光課	現時点で宮野浦周辺に温泉施設の整備の計画はございません。近隣には「かんぼの宿酒田」もあるわけですので、まずは当施設をご活用いただきたいと思います。